



おのの 小野 欽 市

かいしん 改津クラブ

農業振興地域整備計画の見直しによる効果は

問 農業振興地域整備計画は、5年ごとに見直すこととされており、今年度は、来年度からの次期計画策定に向けた見直しの時期である。

この見直しに当たって、市民に対する周知は、どのような範囲で、どのように行っているのか。

また、この見直しにより、津市の未来に向けた農業の姿を表すことができるのか。

将来を見据えた有効な土地利用を考えている

答 津市農業振興対策協議会の委員と、地域の農業者の代表である農業委員および農地利用最適化推進委員に対して、作業スケジュールを説明し、農用地区域の変更を検討している地域があった場合に、ご相談やご要望を市に伝えていただくように依頼をしている。また、これまでに、農用地区域の変更について個別にご相談いただいた地域の代表者の方々へも、5年に一度の見直しである旨を伝え、変更したい内容を上げていただくようにお知らせをしている。

将来を見据え、優良農地として保全していく区域を示し、安全安心に暮らせるための有効な土地利用を考えている。

●その他の質疑・質問●

- 市長の所信表明について
 - 少子高齢化に伴う人口減少について
 - 津市の文化振興について
 - 予算・人事について
 - 津市の産業振興策について
- 地域の安全対策について
- 発達支援について



▲安東地区に広がる優良農地



さかい だ 坂井田 茂

いっしんかい 一津会

中学校英語「話すこと」学力調査の課題は

問 12回目となる「全国学力量習状況調査」が4月18日に実施された。今回の調査において、初めて中学校英語「読む・書く・聞く・話す」調査が加わったが、特にその中の「話すこと」調査の概要は。また、他府県の学校では不具合やトラブルで実施できなかったと聞かすが、市内の実施中学校における運用上の問題点と教育委員会が把握しているところの課題は何か。

英語コミュニケーションへの意欲向上が課題

答 「話すこと」調査は、5分間で、基本的な表現を理解し正しく応答する問題、聞いて把握した内容を継続してやりとりする問題、テーマに沿ってまとまりのある内容を話す問題、それらが、パソコンの画面に表示され、生徒は装着したマイク付きヘッドホンにより、音声で回答する形式となっている。

生徒からは、隣の人の声が聞こえるので話しづらかった、パソコン画面上の調査開始ボタンが分からずに困ったとの声を聞いている。話すことと書くことという発信力を身につけること、英語でコミュニケーションをすることへの関心・意欲を高めることが今後の課題と考える。

●その他の質疑・質問●

- 「津エアポートライン」高速船の運航ダイヤについて
 - 午後9時以降に到着する国際線・国内線の各便が増加傾向にあることから、セントレア発津なぎさまち行の最終便出発時刻を改善すべきではないか
- 津市職員の労務管理に関して
 - 時間外勤務の実態は
 - 労務管理の徹底を
 - 管理職の勤務実態は など



▲中部国際空港発津エアポートライン最終便を午後11時発に